

## 3 学会誌 3.4 学会誌の執筆の手引き

2000年8月11日 制定

2004年12月5日 改訂

2005年12月11日 改訂

2013年4月1日 改訂

### 投稿原稿の種類

本誌は、次の2種類のカテゴリーに当てはまる原稿を受け付ける。

1. **原著論文**：水泳・水中運動の科学論文としての体裁を整えたもので、未発表のデータに基づき、新たな科学的な知見をもたらすものをさす。原著論文においては、編集委員会によって委嘱された2名以上の査読者による論文査読を経て掲載が決定される。
2. その他：

「原著論文」以外のあらゆる著作は、すべて「その他」として分類する。「その他」の著作には、以下のような内容が含まれる。「その他」に分類される著作に対しての査読は行わないが、その内容に関する著作権については、原著論文に準じて取り扱うものとする。

**総説，文献レビュー，水泳研究の紹介，水中運動に関わる施設・用具の紹介**

### 原著論文執筆要領

原著論文執筆は、以下の要領に則って行うこと。

1. **分量**：仕上がりA4×6枚(400字詰め原稿用紙27枚=10800字)以内とする。図表が入るスペース分文章の量は減らす(通常図は1つで原稿用紙約1枚に相当)。仕上がりは22文字×42行×2段組み程度を予定しているため、紙面1/4程度の図表で原稿用紙1枚程度に相当
2. **文字**：本文は横書き、平仮名、新仮名づかい、口語体とし、コンピュータで作成する。フォントは原則として12ポイントとし、ダブルスペースにて書き込む。

3. **論文タイトル**：和文の場合には、最上段に和文で論文タイトルを記す。副題がある場合は両端を全角ダッシュ(一)で括って和文で記す。次に英語による標題を記し、副題がある場合には和文と同様に半角ダッシュ(-)で括って記す。
4. **著者名および所属**：著者および共著者の氏名、氏名の英語表記、所属機関名称の順に記す。所属機関は、括弧でくくり、各著者名の後に記入する。所属機関が大学の場合には、学部名も記す。大学院生の場合には在籍する研究科名も記す。
5. **連絡先**：投稿論文に関する問合せ先として、筆頭著者の氏名、住所、電子メールアドレスを記す。
6. **要旨**：和文の原著論文は、150ワード程度の欧文要旨(ただし別に要旨の和訳を添付する)、英文による原著論文の場合には400字程度の和文要旨を記す。
7. **キーワード**：英文表記による2~5語程度のキーワードをあげ、カンマ(,)で区切って並べる。
8. **本文**：1. 目的、2. 方法、3. 結果、4. 考察など章立てしまとめる。
9. **数字**：原則としてアラビア数字を用いる。
10. **数式**：本文中に数式を入れる場合には、数式処理ソフトウェアの出力を式番号を明記した上で、別途用意する。本文内には、該当する数式を差し込む場所に数式番号を明記する。
11. **記号**：文字や数式、および数字の上付き文字/下付き文字は、正しい出力を本文内に記載する事。またその際には、上付き文字/下付き文字の位置を出力原稿にアンダーラインで指示する。
12. **略語**：本文中にしばしば現れるため、著者が便宜的に省略して用いる語は、初出時に略さず明記し、(以下「…」と略す)と添え書きしてから、以後略語を用いる。
13. **参照**：参照した文献は文献表に掲載する。本文中で参照した文献を明記する場合次のように記入する。著者が2名の場合中黒(・)でつなぎ、3名の場合筆頭者の後に「ほか」をつける。欧文2名の場合はand、3名

の場合筆頭者の後にet al.をつける。これらの名前の後に片括弧)付きで文献表と一致する番号を付ける。文献が3点以上連続する場合は、ハイフン(-)でつなぐ。連続番号でない一連の文献の区切りには、コンマ(,)を用いる。翻訳書の著者を表記するときは、カタカナ表記とする。(仕上がり時に文献番号は上付き文字になる) [例]宮下・野村<sup>1)-3)</sup>によれば…、高橋ほか<sup>2)</sup>によれば…Yoshida and Wakayoshi<sup>3)</sup>によれば…、Okuno et al.<sup>4),5)</sup>によれば…

14. **注記**：注記は最小限にとどめ、該当箇所に注1)と通し番号をつけ、本文と巻末の文献表の間に一括して番号順に説明事項を記載する。
15. **特殊字体**：イタリック，太字表記のベクトルなどは出力原稿にアンダーラインで指示する。
16. **図表**：図表は、1枚ずつ独立させる。図表は、直接印刷できるように完成させ、文章の最後にまとめて添付する。他からの引用については、出典を明らかにした上で、出典元よりの引用許諾を著者の責任のもとで得ておく事。引用に際してはこの引用許諾を原稿送付時に添付する事。図表については、鮮明な印刷原稿を添付する。図・表それぞれに通し番号とタイトルをつける。ただしタイトルおよび図・表中のテキスト(単位，凡例など)はすべて英語で表記する。 [例] Fig. 1 Schematic view of the experimental devices. Table 2 Physical characteristics of the subjects.
17. **参考文献**：参考文献は、本文の最後に著者名の姓をABC順に列挙する。定期刊行物は、著者名(発行年)論文名. 誌名巻(号)：ページ. 単行本は、著者名(発行年)書名. 発行所：発行地，pp. ページ. 編集(監修)書の一部は、著者名(発行年)論文名. 編者名. 発行所：発行地，pp. ページ. 欧文の参考文献も同様とする。 [例] 1)野村太郎，藤島泳(1997)水泳の研究. 水泳水中運動科学 1(1)：1-10. 2)Takagi, H. and Sanders, R. (2005) Hydrodynamics makes a splash. Physics World 13(9)：39-43. 3)高橋繁雄，鈴木次郎(1997)水中運動. 環境工学社：東京，pp. 20-30. 4)Cohen, J. (1988) Statistical power analysis for the behavioral sciences (2nd Ed.). Lawrence Erlbaum: New Jersey, pp. 123-142. 5)本間三四子(1997)シンクロの指導. 日本水泳連盟(編) 大修館書店：東京，

pp.130-140. 6)Franks, I. and McGarry, T. (1996) The science of race analysis. In Science and Swimming. (Reilly, T. and White, B. Eds) E & FN Spon: London, pp.363-375.

18. **校正**：著者校正は1回とし、訂正は印刷上のミスによるものにとどめるものとする。校正は編集委員会の決定した期間内で行い、書留便にて事務局宛に返送するものとする。

## 原稿受付

周年受け付けるが、受理時期によっては、次号へ遅れることがある。

## 原稿送付先

電子メールアドレス [sengoku@taiiku.tsukuba.ac.jp](mailto:sengoku@taiiku.tsukuba.ac.jp)

日本水泳・水中運動学会

事務局担当 仙石泰雄

電話 029-853-6338, FAX 029-853-6338

事務局に届けられた日を原稿受付日として誌上に明記する。尚、著しく執筆の手引きに記載された書式から逸脱したものは事務的に返却し、形式が整った時点を受付日とする。